

# 教育新聞

週2回 月・木発行

発行所 教育新聞社

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町 1-40

代表 ☎ 03(3295)7051

[購読申し込み・お問い合わせ]

http://www.kyobun.co.jp/

〔購読料・月額〕2,500円+税

©教育新聞社 2015



「島国に住む日本人がグローバルになるとは、どういうことでしょうか？」

私は最近、企業や学校の方たちに、こう聞くことにしている。多くはあいまいな答えが返ってくるが、それはものを見る視力の低さを物語っている。昨年11月のAPEC開催のころから、私は中国の動きに猛威を感じ、「日本の危機」という1枚の世界地図を

独自に作った。

国内では、人口減少と債務残高1005兆5千億円、そして巨大地震発生の可能性。世界レベルでは資本主義の終焉、イスラム国の拡大とテロの拡散、ド

つき進んでいる様子が見え、愕然とする。

同年12月、産経新聞紙上で、ワシントンの古森義久客員特派員は、米国の中国軍事戦略研究の権威マイケル・ピルズベリー氏が近

年だという。

日本ではグローバル人材をいかに育成するのかが主要問題のように騒がれているが、大變、近視眼的だといえる。島国に住む日本人がグローバルになるとは「世界中で起きていることがよく見えるよう

特に教育に携わる者は、世界を見る視力をいかに高めるか、そして見えたものをいかに見えない人たちに伝えるかが、国の近未来に関わる重要なことだ。

政府は対外情報機関の設立に向かっているが、私たち一人ひとりが必要がある。幸い日本人は仏教や東洋思想の影響を受け、「心眼」で真実を見る手段をもつ。

## グローバル時代の心眼術

(一社)グローバル教育研究所理事長

渥美 育子

私は最近、企業や学校の方たちに、こう聞くことにしている。多くはあいまいな答えが返ってくるが、それはものを見る視力の低さを物語っている。昨年11月のAPEC開催のころから、私は中国の動きに猛威を感じ、「日本の危機」という1枚の世界地図を

著で、中国は自ら命名した「100年のマラソン」で、米国にとって代わって超大国となる秘密戦略を明らかにしたと報道した。

グローバル時代には情報分析に、この「心眼」を使い、目くらま

昨年11月のAPEC開催のころから、私は中国の動きに猛威を感じ、「日本の危機」という1枚の世界地図を

うち、中国については、大陸、大洋、宇宙において着々と世界の覇権国を目指して

グローバル時代には情報分析に、この「心眼」を使い、目くらま

昨年11月のAPEC開催のころから、私は中国の動きに猛威を感じ、「日本の危機」という1枚の世界地図を

「日本悪魔化」工作が主要手段であり、目的達成の年は2049

グローバル時代には情報分析に、この「心眼」を使い、目くらま